



小宮 幹事 松石 会長



浦和中ロータリークラブ

よいことのために手を取りあおう

今日の例会 Today's Regular Meetings

10月30日（木）19:00～20:00

第1656例会

例会場：浦和コムセン 第6集会室

テーマ：クラブ研修会

「これまでに実施した国際奉仕事業」

卓話者：過去の国際奉仕委員長

食事：弁当

会長挨拶 松石 滋樹

皆さま、こんばんは。

本日は親クラブにあたります浦和クラブ様をはじめとして、多数のゲストにお越しいただきまして、大変感謝申し上げます。

また卓話者として東京証券取引所の岩永社長をお迎えしております。今年の日経平均株価はついに史上最高値を更新し、岩永社長をお迎えして卓話いただくタイミングとしてはこれ以上ないかと思われます。後ほど卓話、よろしくお願ひいたします。

さて私は公認会計士・税理士ではございますが、本日は公認会計士の仕事について、少しお話したいと思います。公認会計士の独占業務として、監査業務がございます。独占業務ですので、公認会計士以外の方、例えば税理士であっても、この監査という業務を行うことはできません。監査とは、企業が作成した財務諸表が適正に作られているかを、独立した立場で検証することです。企業が自ら開示する決算内容が適正に作成されていることを担保するわけです。この監査業務ですが、以前は決算の数字を検証することがメインでしたが、最近では、それ以外の業務がどんどん増えているのです。

例えば「KAM（重要な監査事項）」：監査報告書の中で、監査人が特に注目したリスクや判断の難しかった部分を、具体的に開示する仕組みです。以前は「適正と認めます」の一文で済んでいた監査報告書も、いまや「どこをどう見たか」「どの点が経営判断の要だったか」まで書かねばならなくなくなりました。いわば、料理人がレシピだけでなく、調理中の迷いや工夫まで公開するようなものです。

さらに、注記情報も格段に増えています。来年度以降は、CO₂排出量などの非財務情報、つまりサステナビリティ関連データも注記対象となる見込みです。「利益はいくらか」だけでなく、「その利益を得るためにどれだけ環境負荷をかけたのか」まで問われる時代になっています。こうした



次回の例会 Next Regular Meetings

11月6日（木）19:00～20:00

第1657例会

例会場：伊勢丹浦和店7階クローバーレーム

テーマ：新しい「ポートマッチ」について

卓話者：早稲田大学教授 山本 鉄平 様

食事：天ぷら つな八

開示は、投資家にとって重要な判断材料になる一方で、公認会計士の業務範囲は急速に広がり、責任も重くなっています。

監査人はもはや「帳簿の番人」ではなく、「企業の信頼性を社会に保証する最後の砦」となりつつあります。少しだけ言えれば、監査報告書一枚の裏に、企業と社会の信頼関係が乗っているのです。本日はまさに、その「信頼の市場」を運営されている東京証券取引所の岩永社長にお話しいただけるとのこと。市場の健全性を支える立場として、私も共感を持って拝聴したいと思います。

ご清聴、ありがとうございました。

【米山記念奨学会感謝状贈呈】

第1回 米山功労者

栗原会員・中村会員



第2回 米山功労者マルチブル尾崎会員

第15回 マジヤードナー 小嶋会員



第23回 マジヤードナー 小谷野会員



【お客様】

浦和RC 会長 塩川和彦様 幹事 新井太久夫様

鴻巣イギングRC 米山奨学部門委員長 小川和義様

大宮RC 橋本和久様



卓話 岩永守幸氏（東京証券取引所 代表取締役）株式市場の現状と東証の取組み

東京証券取引所の現状と今後の展望

- ・東京証券取引所の岩永社長が株式市場の状況について
- ・最近の株高について今後の見通しが話題に
- ・東京証券取引所と大阪証券取引所が統合した経緯
- ・JPXとして持ち株会社を設立し機能を分けた
- ・東京商品取引所がグループに統合された
- ・電力の先もの取引が行われている
- ・上場会社の審査を専門に行う会社が設立された
- ・株価指標の算出を別会社に移行した

株式市場の動向と社長の経験について

- ・社長は昭和36年生まれで、40年以上当省で働いている
- ・社長は2023年4月から東京に戻り、CEOを務めている
- ・株式市場の基幹投資家はトピックスに基づく資産運営を行っている
- ・日経平均株価は2023年4月から上昇を始めた
- ・2024年2月には日経平均が34年ぶりにバブルの最高値を更新した
- ・昨年8月には過去最大の下げ幅を記録した
- ・台湾のメディアは日本株に関心を持っていると報告した
- ・日本株は海外投資家が約6割を占めている

個人投資家の動向と日本株の市場状況

- ・個人投資家の前代動向を15年で見る
- ・日本の個人は株式を売っているだけではない
- ・2020年以降、個人は5年連続で売り越し
- ・金額で見ると売り越し、株数で見ると買い越し
- ・利益確定の売りが見られるが、まだ買い増しもしている
- ・新しいニーサ制度により個人投資が活発化
- ・個人の資金が株式市場に流入している
- ・個人が日本株に流す資金が増加している
- ・個人の金融資産に占める株式の割合が上昇している

株式投資の現状と若者への支援

- ・1,600万人の個人株主がいる
- ・株式投資に関心のなかった人が増加した
- ・20代が最も多く口座を開設している
- ・年収300万円以下の人が多く口座開設している
- ・若者が将来のために少額ずつ投資している
- ・投資単位の引き下げを進めている
- ・株式分割を進めているが、企業の抵抗もある
- ・金融経済教育推進機構を設立した
- ・出張授業を無料で提供している
- ・講義を受けた人に無料相談を提供している



上場企業の持ち株会加入率と市場区分の見直し

- ・国の支援を活用し持ち株会の加入促進を図るべき
- ・証券取引所のミッションは公正で効率的なマーケットの維持
- ・上場会社に資本コストを意識した経営を要請
- ・ガバナンスコードの理解不足が企業の実行を妨げている
- ・東京と大阪の取引所の統合が市場区分の見直しを促した
- ・プライム基準の引き上げが企業に影響を与えている
- ・基準未達の企業にもプライム上場を許可する経過措置が批判された

上場会社のPBRと経営の意識

- ・上場会社のPBRが1倍を下回っていることが将来性の低さを示す
- ・経過措置だけでは市場活性化にはつながらない
- ・経営者は株価をコントロールできないが、必要な情報を提供する義務がある
- ・日経新聞の報道が上場会社の意識を変えるきっかけとなった
- ・資本コストを意識した計画を出す会社が増えている
- ・開示内容が投資家に評価されることで経営の自信が高まる
- ・改善の余地がある会社でも姿勢を示すことで資本コストが下がる
- ・地方の上場会社への対応が必要とされている

資本コストや株価を意識した経営の要請について

- ・当省は資本コストや株価を意識した経営を要請している背景を説明するために各県を回っている
- ・700社の社長に直接お話をし、株価の重要性を伝えている
- ・証券取引所は民間の会社であり、上場会社と契約を結んでいると説明している
- ・日本のデフレが終わり、企業経営が前向きになっている
- ・経営者が資本効率や利益率を重視するようになっている
- ・日本の上場会社の企業業績は4年連続で過去最高を更新している
- ・政府が国民に株式投資を促している
- ・経営者は国民のために頑張って日本を元気にする必要がある

幹事報告 小宮泰二

配布物・行事

- ①週報・ニコニコ1654

対象者

- ①米山特別寄付金領収証

10/25 (土) 米山奨学生



日帰り研修旅行（日光方面）

【回覧】・ハイライトよねやまvol.307

【寄付報告】

10/2、9に募ったポリオ募金、合計40,000円（268.45ドル）寄付しました

出席報告：石井佳代出席委員長

| ①会員総数 2025-26年度 | ②本日の出席 会場+リモート | ③メークアップ カード枚数 | ④出席数 (②+③) | ⑤免除会員数 2025-26年度 | ⑥免除会員者 当日欠席数 | ⑦実行数 (①-⑥) | ⑧出席率 (④÷⑦) |
|--------------------|-------------------|------------------|---------------|---------------------|-----------------|---------------|---------------|
| 32 | 23 | 4 | 27 | 3 | 0 | 32 | 84.38% |

【編集後記】東京証券取引所岩永社長の話は、もっと難しいものかと思いましたが、実際は分かりやすくとても理解できる卓話でした。株価5万円の予想は控え目に言っていましたが、実際は週明けに5万円達成しました。きっと分かっていたのかと思いますw メーキャップのお客さまからもこういった卓話はどんどん発信して欲しいと言われました。

奉仕活動の浦和中RCですが、卓話もピカイチのクラブとして今後も頑張っていきましょう！（よ）

会長：松石 滋樹

幹事：小宮 泰二

R財団：小宮 泰二

奉仕PJ：横田 松博

親睦：辻村 浩司

出席：石井 佳代

会長エレクト：栗原 隆之

クラブ管理運営：栗原 隆之

米山記念：小嶋 敏夫

会員増強：尾崎 康

ロータリー情報：野本 恵子

公共イメージ向上：足立 和徳

例会日：毎週木曜日 19:00～20:00

例会場：伊勢丹浦和7F クローバールーム

事務局：さいたま市浦和区高砂2-8-4 市川ビル3階

TEL:070-9097-5489

ホームページ <http://urawa-naka-rc.org>

Email urawanakaRC@outlook.jp